

# 年金積立金管理運用独立行政法人の運用状況(平成22年度)

## ○ 運用状況 (前期末からの収益)

第1四半期 (4～6月) ▲2.9% (約▲3.6兆円)

第2四半期 (7～9月) +1.5% (約+1.8兆円)

第3四半期 (10～12月) +0.6% (約+0.7兆円)

第4四半期 (1～3月) +0.7% (約+0.8兆円)

➡ **年度通期 (4～3月) ▲0.3% (約▲0.3兆円)**

※ 年金積立金全体では、13年度(自主運用開始)からの収益は、**累積で約23兆円のプラス。**

※ 収益は、各期末時点での時価に基づく評価であり、**市場の動向によって変動するものです。**

## 年金積立金の管理・運用の基本的な考え方

年金積立金は、国民の老後の年金給付に充てるためのものであることから、その運用は、安全を第一に、比較的安<sub>全</sub>な資産とされる国内債券を中心としつつ、株式等に分散投資を行っています。

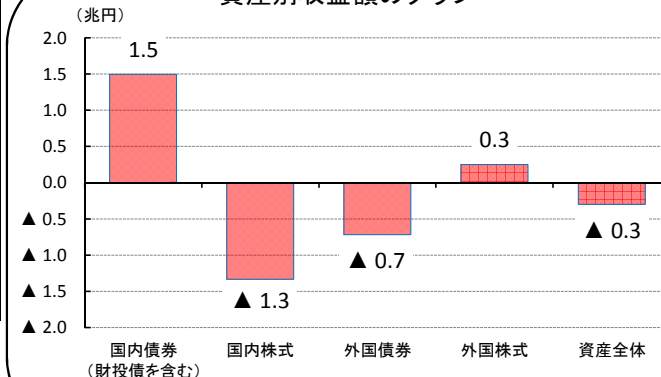
しかしながら、市場で運用する限りは、一時的に損失が出ることもありますが、損失が出たからと慌てたり、収益が出たからと楽観視するのではなく、長期的な観点に立って運用を行うことが重要です。

## 平成22年度資産別収益額及び年度末運用資産額

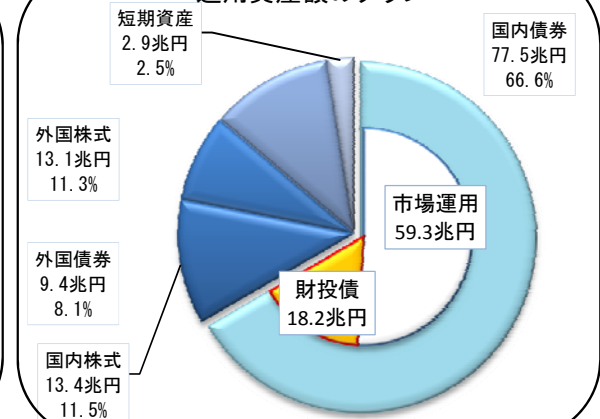
	(単位:億円)		(単位:兆円)	
	資産別収益額	収益率	運用資産額	構成割合
国内債券	14,978	-	77.5	66.59%
市場運用分	12,284	1.95%	59.3	50.94%
財投債	2,693	1.37%	18.2	15.65%
国内株式	▲13,342	-9.04%	13.4	11.53%
外国債券	▲7,167	-7.06%	9.4	8.11%
外国株式	2,516	2.18%	13.1	11.26%
運用資産全体	▲2,999	-0.25%	116.3	100.00%
運用手数料及び借入利息等	283	-		
損益額(手数料控除後)	▲3,281	-		

※ 資産別収益額の運用資産全体欄には短期資産の収益額(17億円)を、運用資産額の運用資産全体欄には短期資産の資産額(3兆円)を含む。

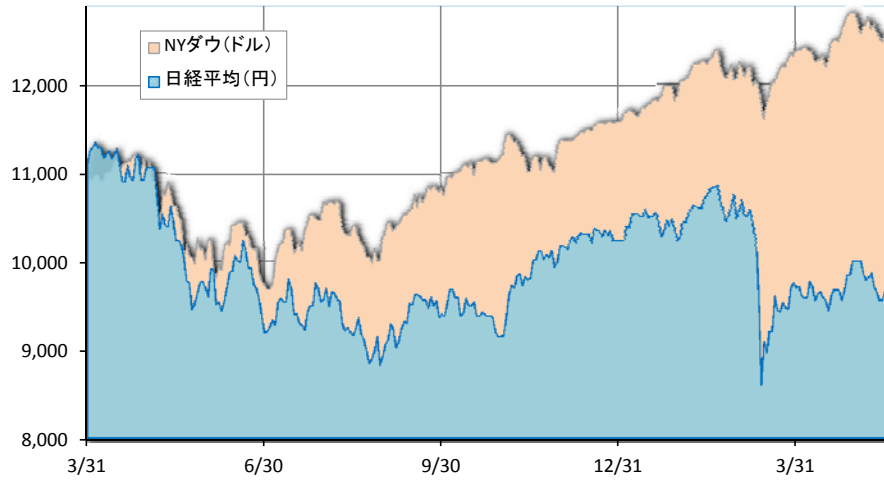
### 資産別収益額のグラフ



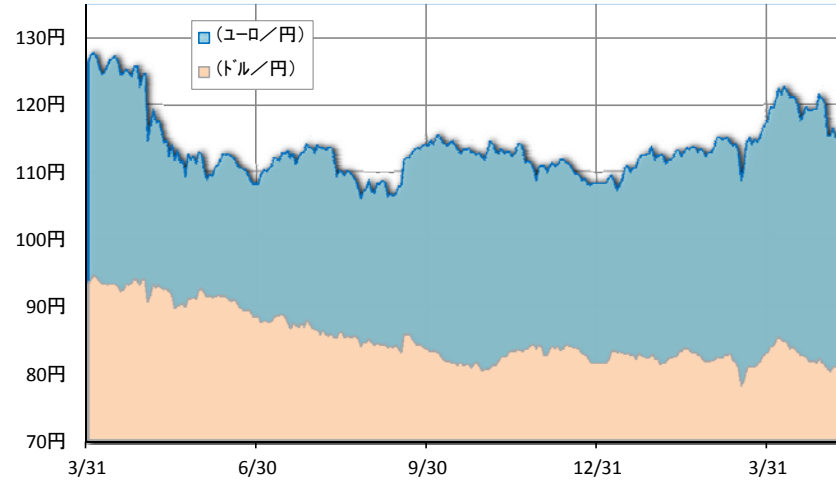
### 運用資産額のグラフ



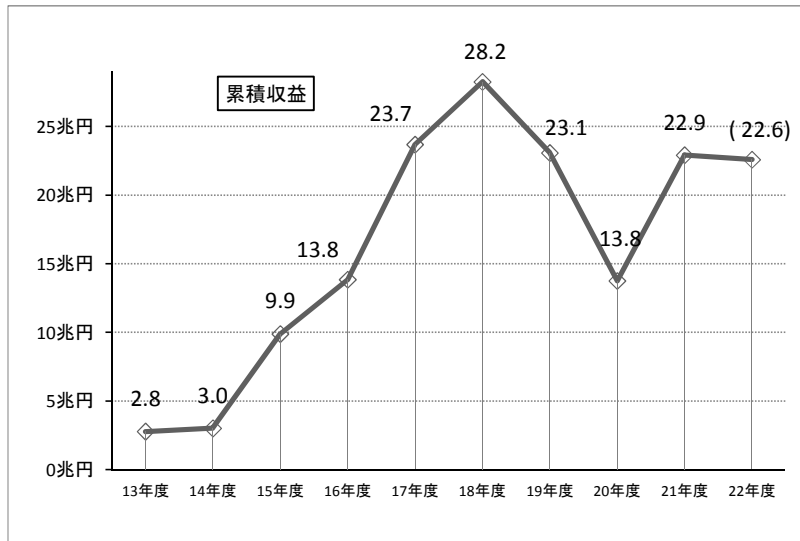
○ 市況動向（日経平均とNYダウ）



○ 為替動向（円/ドルと円/ユーロ）



（参考） 積立金全体の運用状況（自主運用開始時からの収益）



年度	管理運用法人 (兆円)		特別会計が保有 する積立金(兆円)	積立金全体 の収益額 (兆円)	
		収益率			収益率
13年度	▲ 1.3	▲ 1.8%	4.1	2.8	1.9%
14年度	▲ 3.1	▲ 5.4%	3.3	0.2	0.2%
15年度	4.4	8.4%	2.4	6.9	4.9%
16年度	2.2	3.4%	1.7	4.0	2.7%
17年度	8.7	9.9%	1.2	9.8	6.8%
18年度	3.8	3.7%	0.8	4.6	3.1%
19年度	▲ 5.6	▲ 4.6%	0.5	▲ 5.2	▲ 3.5%
20年度	▲ 9.4	▲ 7.6%	0.1	▲ 9.3	▲ 6.9%
21年度	9.1	7.9%	0.0	9.2	7.5%
22年度	▲ 0.3	▲ 0.3%	(0.0)	(▲ 0.3)	-
合計	( 8.5)	-	( 14.1)	( 22.6)	-
	【 6.8】				

※1 管理運用法人の収益率は、運用手数料等控除前の収益率。

※2 【 】内は、平成12年度以前の旧年金福祉事業団の損益等を含めた累積損益。

# 市場の動向(平成22年度)

## 《運用資産全体(市場運用分+財投債)》

	平成21年度	平成22年度				通期
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
収益率(%)	7.91	-2.94	1.53	0.62	0.69	-0.25
収益額(億円)	91,850	-35,898	17,725	7,193	7,981	-2,999
運用資産額(億円)	1,228,425	1,168,027	1,176,436	1,162,720	1,163,170	1,163,170

※ 収益額は、運用手数料等控除前のもの。

○ 参考指標 (( )内は、22年3月末からの騰落率。)

	平成22年3月末	平成22年6月末	平成22年9月末	平成22年12月末	平成23年3月末	平成23年4月末
日経平均 (円)	11,089.9	9,382.6 (-15.4%)	9,369.4 (-15.5%)	10,228.9 (-7.8%)	9,755.1 (-12.0%)	9,849.7 (-11.2%)
TOPIX(配当なし) (ポイント)	978.8	841.4 (-14.0%)	829.5 (-15.3%)	898.8 (-8.2%)	869.4 (-11.2%)	851.9 (-13.0%)
NYダウ (ドル)	10,856.6	9,774.0 (-10.0%)	10,788.1 (-0.6%)	11,577.5 (6.6%)	12,319.7 (13.5%)	12,810.5 (18.0%)
DAX(ドイツ) (ポイント)	6,153.6	5,965.5 (-3.1%)	6,229.0 (1.2%)	6,914.2 (12.4%)	7,041.3 (14.4%)	7,514.5 (22.1%)
為替(ドル/円) (円)	93.4	88.5 (-5.3%)	83.5 (-10.6%)	81.1 (-13.2%)	82.9 (-11.3%)	81.1 (-13.2%)
為替(ユーロ/円) (円)	126.4	108.4 (-14.3%)	114.1 (-9.8%)	108.8 (-13.9%)	117.6 (-7.0%)	120.4 (-4.8%)

## ○ 海外の年金基金に比べて安全重視の運用 (「国内債券を中心とした分散投資」)

(参考) 海外の年金基金の運用状況

	22年度	(21年度)	(20年度)
・ CalPERS <株式 約5割> (米)カリフォルニア州職員退職年金基金)	13.1%	(25.2%)	(▲29.1%)
・ CPPIB(カナダ) <株式 約6割>	11.9%	(14.9%)	(▲18.6%)
・ GPF-G(ノルウェー) <株式 約6割> (全て海外資産)	4.9%	(25.5%)	(▲9.5%)
・ AP1~4(スウェーデン) <株式 約6割>	(速報値) 10.4%	(19.7%)	(▲21.6%)
※ 各基金の資産残高で加重平均	(1-12月)	(1-12月)	(1-12月)
・ 管理運用法人 <株式 約2割>	▲0.3%	(7.9%)	(▲7.6%)

